

第3期中期目標期間の終了時に見込まれる
中期目標の期間における業務実績等報告書
(令和2年4月1日～令和6年3月31日)

令和5年6月
地方独立行政法人府中市病院機構

大項目1「住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項」

中期計画に定める中項目

- 1 市民病院として担うべき事業
- 2 病院の役割に応じた診療機能の確保
- 3 地域医療の推進に資するICT技術の活用の検討

	毎年度の大項目評価				中期目標期間評価	
	令和2	令和3	令和4	令和5	見込まれる評価	期間実績評価
自己評価 ※自己評価は小項目ごとに実施	/	/	○		○	
市長評価	○	○	○		○	

(評価基準) ◎：年度計画を上回って実施 ○：年度計画を順調に実施
△：年度計画を十分に実施できていない ×：年度計画を大幅に下回っている

実績（取組、成果、課題等）及び評価の理由

【中項目1 市民病院として担うべき事業】

両病院とも、外来、入院患者数について、令和2年度は目標達成に近づいていたが、令和3年度以降はコロナ禍により減少傾向が続いている。特に、令和4年度に見えてきた、府中北市民病院の入院患者数の減少傾向には、計画の最終年度に向けて対策が必要です。

・救急医療対策

＜府中市民病院＞救急車受入件数は、救急科常勤医師の着任により目標を大きく上回る。

＜府中北市民病院＞救急車受入件数は、毎年度増加し目標を達成しています。

・災害時における医療対策

両病院とも、防火訓練については定着しているが、防災訓練や防災備蓄品については十分とは言えない。今後、市と計画の見直しを含めた協議が必要です。

・へき地医療対策

＜府中市民病院＞巡回診療の患者数については、毎年度増加しており目標を達成している。府中北市民病院への内科常勤医師の派遣については、令和4年度末に当該医師が退職し令和5年度からの常勤医師派遣はできなくなったが、週1回の非常勤医師派遣で対応しています。

・周産期医療対策、小児医療対策

＜府中市民病院＞婦人科常勤医師1名による診療、健診を継続している。常勤医師を中心に院内多職種による「女性予防医学チーム」を令和3年度に立ち上げ、令和4年度には市の保健事業と連携した講演会の開催など、市民への情報発信に取り組んでいる。小児科については、広島大学病院からの非常勤医師により、平日の外来診療を継続しています。

＜府中北市民病院＞婦人科及び小児科を担当する医師が、上下町内の社会福祉法人に勤務することになり、令和3年度から外来診療日が週2日の午前中のみとなりました。将来的な上下地域での婦人科、小児科の医療提供体制を検討する必要があります。

・在宅医療と介護等の連携体制

＜府中市民病院＞令和2年度に在宅部門の組織的な充実を図るため、地域包括支援センター長に常勤医師を配置しました。訪問診療、退院時カンファレンス実施率は目標達成していますが、その他の指標は目標達成していません。関係部署の人事異動など、組織的な対応を行います。

＜府中北市民病院＞常勤医師の増員ができず訪問診療の目標は達成できませんが、訪問看護、訪問リハビリは目標を大きく達成しています。

- 健診等の実施による疾病予防の推進

病院が健診等の受け入れ態勢を拡大することができず、またコロナ禍もあり受診者数は横ばいで目標達成できませんでした。受診者の目標数については、市と調整が必要です。

【中項目2 病院の役割に応じた医療機能の確保】

広島県地域医療構想を踏まえた(1)病床の機能の分化及び連携の促進(2)地域包括ケアシステムの確立に向けて、両病院の検証を行いました。検討結果については、令和3年度に市へ概要を報告しました。

- 市民病院の今後のあり方

両病院は、福山・府中二次医療圏の北部（府中地区）の医療提供体制を維持するため、地域に必要な病床、診療科を確保します。また、両病院の基本的な考え方は、民間で十分提供できない医療を積極的に行うことで、地域の医療提供体制における公的病院としての役割を担います。

- 今後の地域医療連携の方向性は、両病院それぞれの診療圏域における地域包括ケアシステムの構築に向けて、広島県地域医療構想及び市の高齢者保健福祉総合計画・介護保健事業計画と整合性を図りながら、引き続き公的病院としての役割を果たします。市内で完結できない医療機能の確保策については、他の医療機関との連携による枠組みや役割を検討します。加えて、上下地域においては、地理的状況を考慮して備北圏域の拠点医療機関からの診療支援を受けており、引き続きその連携に努めます。

- 取り組むべき医師確保策

医師の招聘については、市との連携・情報共有を密にし、医師の派遣元である大学病院をはじめ、広島県や広島県地域医療支援センター等の行政機関や近隣の中核病院に対する協力（医師派遣及び診療支援）要請を継続するなど、必要な医師の確保に努めました。

市の医師育成奨学金奨学生は5人（研修医2人を含む）で、目標達成しています。

<府中市市民病院>令和2年度常勤医師1人増（耳鼻咽喉科）、令和3年度常勤医師3人増（内科1人、外科2人）、令和4年度常勤医師1人増（泌尿器科）

<府中北市民病院>令和3年度非常勤医師1人増（眼科）

- 看護師養成機関等との連携

府中地区医師会准看護学院に講師として、令和4年度に閉校するまで、医師、看護師、臨床検査技師、放射線技師、理学療法士の派遣を継続しました。

令和4年度末時点、法人の看護師奨学金制度を利用中の学生は1人で、中期目標期間中に卒業し法人職員となった看護師は2人です。

【中項目3 地域医療の促進に資するICT技術の活用の検討】

• ICT技術を活用した、新たな医療提供

両病院とも、コロナ禍の中でオンライン診療を開始しましたが、まだ対象患者は限定的であり、オンライン診療の今後の展開について市との協議が必要です。

• HMネットの普及促進

＜府中市民病院＞広島県内の医療連携におけるICTの活用として、「ひろしま医療情報ネットワーク（HMネット）」に情報開示及びHMカード発行病院として参加しています。HMカード発行枚数は、目標を大きく下回りました。

【関連指標】

指標	実績 上段：府中市民病院 下段：府中北市民病院			
	令和2	令和3	令和4	令和5 (見込)
1 市民病院として担うべき医療				
【病院運営に関する指標】				
外来患者数（人）	307 158	264 175	302 154	300 140
入院患者数（人）	120 39	125 35	119 33	120 25
病床利用率（%）	80.9 64.4	83.8 59.5	79.3 55.2	80.0 41.6
(1) 救急医療対策				
時間外患者数（救急車除く）（人）	1,394 663	1,248 804	1,135 994	1,400 900
救急車受入件数（人）	488 169	506 207	570 232	570 230
(2) 災害時における医療対策				
防災・災害対策訓練	1 0	1 0	1 0	1 0
防火訓練（回）	2 2	2 2	2 2	2 2
防火用水（ℓ）	53,000 41,700	53,000 41,700	53,000 41,700	53,000 41,700

医薬品（備蓄）（日分）	無 3	無 3	無 3	無 3
飲料水（備蓄）（ℓ）	無 無	無 無	無 無	無 無
食料（備蓄）（日分）	無 3	無 3	無 3	無 3

指標	実績 上段：府中市民病院 下段：府中北市民病院			
	令和2	令和3	令和4	令和5 (見込)
1 市民病院として担うべき医療				
(3) へき地医療対策				
巡回診療 ※府中市民病院のみ 実施回数(人)	175	223	250	250
医師派遣(名) ※府中北市民病院へ常勤医師(内科)	1	1	1	0
(4) 周産期医療対策、小児医療対策				
婦人科外来(人)	2,749 429	2,490 337	2,327 319	2,400 300
婦人科検診(人)	809 77	828 82	685 75	700 70

指標	実績 上段：府中市民病院 下段：府中北市民病院			
	令和2	令和3	令和4	令和5 (見込)
1 市民病院として担うべき医療				
(5) 在宅医療と介護等の連携体制（地域包括ケアシステムの構築に資する医療・介護サービス）				
退院時カンファレンス実施率（%）	53.2 88.9	53.2 70.2	75.2 63.2	75.0 63.0
紹介率	31.8 —	30.5 —	26.9 —	30.0 —
逆紹介率	19.8 —	15.9 —	14.0 —	15.0 —
訪問診療（回）	256 598	265 375	229 248	250 300
訪問看護（回）	2,915 1,915	3,138 2,214	3,200 2,381	3,200 2,300
訪問リハビリ（回）	1,848 1,853	2,013 3,429	2,022 3,911	2,000 3,900
通所リハビリ（回）	— 1,235	— 1,004	— 1,070	— 1,000
ささえ契約者数（人）	— 9	— 34	— 34	— 34
サ高住入居室数（室）	— 16	— 16	— 16	— 16
(6) 健診等の実施による疾病予防の推進				
人間ドック（人）	296 73	341 78	335 85	335 85

特定健診（人）	975	1,102	1,107	1,100
	295	341	298	300
がん健診（人）	736	829	625	700
	171	205	186	200
健康教室（回）	0	0	0	4
	11	8	10	10

指標	実績 上段：府中市民病院 下段：府中北市民病院			
	令和2	令和3	令和4	令和5 (見込)
2 病院の役割に応じた医療機能の確保				
(1) 市民病院の今後のあり方				
広島県地域医療構想を踏まえた検証	検証 —	報告 —	—	—
(2) 今後の地域医療連携の方向性				
新たな地域連携の具体化	無 無	無 有	無 無	無 無
(3) 取り組むべき医師確保策				
医師の配置（人）	6	7	7	7
内科	2	2	2	2
整形外科	2 1	2 1	2 1	2 1
外科	非常勤 非常勤	2 非常勤	2 非常勤	2 非常勤
婦人科	1 非常勤	1 非常勤	1 非常勤	1 非常勤
麻酔・救急科 ※府中市民病院のみ	1 —	1 —	1 —	1 —

小児科	非常勤 非常勤	非常勤 非常勤	非常勤 非常勤	非常勤 非常勤
泌尿器科	非常勤 非常勤	非常勤 非常勤	1 非常勤	1 非常勤
耳鼻咽喉科	1 非常勤	1 非常勤	1 非常勤	1 非常勤
眼科	非常勤 —	非常勤 非常勤	非常勤 非常勤	非常勤 非常勤
皮膚科 ※府中北市民病院のみ	— 非常勤	— 非常勤	— 非常勤	— 非常勤
精神科 ※府中市民病院のみ	非常勤 —	非常勤 —	非常勤 —	非常勤 —
(4) 看護師養成機関等との連携				
府中地区医師会准看護学院講師派遣（延べ人数） ※府中市民病院のみ	59	59	59	閉校

指標	実績 上段：府中市民病院 下段：府中北市民病院			
	令和2	令和3	令和4	令和5 (見込)
3 地域医療の推進に資するICT技術の活用検討				
(1) ICT技術を活用した新たな医療提供				
オンライン診療の開始	開始 開始	継続中 継続中	継続中 継続中	継続中 継続中
(2) HMネットの普及促進				
HMカードの発行枚数（枚）※府中市民病院のみ	5	2	2	2

大項目2「業務運営の改善及び効率化に関する事項」

中期計画に定める中項目

- 1 市民から選ばれる病院づくり
- 2 組織としての経営の専門性の向上
- 3 業務管理（リスク管理）の充実
- 4 働きやすい職場環境の整備
- 5 人事制度の効果的な活用

	毎年度の大項目評価				中期目標期間評価	
	令和2	令和3	令和4	令和5	見込まれる評価	期間実績評価
自己評価 ※自己評価は小項目ごとに実施			○		○	
市長評価	○	○	○		○	

(評価基準) ◎：年度計画を上回って実施 ○：年度計画を順調に実施

△：年度計画を十分に実施できていない ×：年度計画を大幅に下回っている

実績（取組、成果、課題等）及び評価の理由

【中項目1 市民から選ばれる病院づくり】

・患者満足度調査の実施とそれに伴う接遇の向上

両病院とも、年1回患者満足度調査を実施するとともに、患者満足度向上のための研修会を開催しています。また、患者満足度調査の結果については、令和2年度の調査結果から市の広報誌「広報ふちゅう」に病院機構だよりとして掲載しています。令和4年度調査では、前年度と比較して満足度は5.3%上昇、不満足度も2.1%上昇しています。

・市民への積極的な情報発信

市の協力を得て、市の広報誌の特集記事「病院機構だより」として、年4回法人としての情報を発信しています。

<府中北市民病院>上下地域の介護事業所等と協力して地域情報紙「ええじゃん上下」の発行を継続し、地元根差した地域活動の紹介などに努めています。

・安心、安全な医療提供体制の確立については、両病院とも毎月、医療安全対策委員会を開催し、インシデント・アクシデントレポートを共有することで、職員全員の医療安全対策の意識を高めています。個人情報保護については、新入職員の研修会を始め、継続して職員を対象にした個人情報保護研修会を実施しています。

【中項目2 組織としての経営の専門性の向上】

法人設立時の市からの派遣事務職員は9人でしたが、法人設立から12年目の令和5年度には、全ての職員が法人職員となりました。そのうち法人外部の公的医療機関からの招聘は、府中市民病院の事務長、医事課長の2人です。

【中項目3 業務管理（リスク管理）の充実】

病院の使命を適切に果たすため、関係法令の遵守はもとより、行動規範と職員倫理の確立に向けた取り組みとして、両病院において毎年ハラスメントアンケート調査と研修会を実施しています。

【中項目4 働きやすい職場環境の整備】

職員満足度調査を実施することで、それぞれの病院で働く職員の仕事、職場環境や組織に対する満足度を把握し、働きやすい職場環境の改善に努めています。

【中項目5 人事制度の効果的な活用】

職員の業績、職務能力、職責等を公正に評価し、職員の意欲が引き出されるよう、効果的な人事評価制度の導入に向け、引き続き人事制度の効果的な活用を検討します。

【関連指標】

指標	実績 上段：府中市民病院 下段：府中北市民病院			
	令和2	令和3	令和4	令和5 (見込)
1 市民から選ばれる病院づくり				
(1) 患者満足度調査の実施とそれに伴う接遇の向上				
患者満足度調査実施回数（回）	1 1	1 1	1 1	1 1
(2) 市民への積極的な情報発信				
市の広報誌への掲載回数（回）	0	4	4	4
(3) 安心・安全な医療提供体制の確立				
医療安全対策委員会（回）	12	12	12	12

指標	実績 上段：府中市民病院 下段：府中北市民病院			
	令和2	令和3	令和4	令和5 (見込)
2 組織としての経営の専門性の向上				
法人外医療機関から幹部職員の招聘（人）	0	1	0	1

指標	実績 上段：府中市民病院 下段：府中北市民病院			
	令和2	令和3	令和4	令和5 (見込)
3 業務管理（リスク管理）の充実				
ハラスメントアンケート調査と研修会（回）	1 0	1 1	1 1	1 1
指標	実績 上段：府中市民病院 下段：府中北市民病院			
	令和2	令和3	令和4	令和5 (見込)
4 働きやすい職場環境の整備				
職員満足度調査（回）	0 0	1 1	0 0	0 0
指標	実績 上段：府中市民病院 下段：府中北市民病院			
	令和2	令和3	令和4	令和5 (見込)
5 人事制度の効果的な活用				
人事評価制度の導入	無 無	無 無	無 無	無 無

大項目3「財務内容の改善に関する事項」

中期計画に定める中項目

- 1 経営機能の強化による自立した病院運営
- 2 収入の確保と支出の削減
- 3 計画的な投資と財源の確保

	毎年度の大項目評価				中期目標期間評価	
	令和2	令和3	令和4	令和5	見込まれる評価	期間実績評価
自己評価 ※自己評価は小項目ごとに実施			○	○	○	
市長評価	○	○	○		○	

(評価基準) ◎：年度計画を上回って実施 ○：年度計画を順調に実施

△：年度計画を十分に実施できていない ×：年度計画を大幅に下回っている

実績（取組、成果、課題等）及び評価の理由

【中項目1 経営機能の強化による自立した病院運営】

公営企業型地方独立行政法人として、繰出基準に基づく市からの繰出(負担金)を除いては、企業の経済性の発揮による独立採算制を実現し、本中期目標期間中の経常収支の均衡の達成を目標にしています。

各年度の経常収支比率について、令和2年度は96.9%で目標を未達成、令和3年度は102.6%で目標を達成、令和4年度は99.8%でわずかに未達成、中期目標最終年度の令和5年度の目標達成に努めます。

【中項目2 収入の確保と支出の削減】

第3期中期計画期間は、両病院とも長引くコロナ禍での業務となり、職員や患者の感染による院内感染対策のための診療制限など、収入源となる要因が大きい中での経営となりました。

＜府中市民病院＞

医業収支比率は、毎年度、良い方向で推移しています。

入院収益は、令和3年度に前年度を下回りましたが、令和4年度には回復しています。

外来収益は、令和2年度に前年度を下回りましたが、令和3年度以降は順調に回復しています。

費用については、給与費は増加傾向ですが給与費比率は下降、材料費については収益に比例して増加していますが材料費比率はほぼ一定、減価償却費は建て替え時に取得した資産の償却がほぼ終わったため大きく減少しています。

＜府中北市民病院＞

医業収支比率は、令和3年度から悪化傾向になっています。令和5年度は入院収益の大幅な減収により、過去最悪の収支が見込まれます。

入院収益は、減少傾向にありましたが、令和3年度に大きく減少し、その傾向が継続しています。

外来収益は、令和2年度に前年度を下回りましたが、令和3年度以降は増加傾向にあります。

費用については、給与費は増加傾向で給与費比率も上昇、その他の経費についてはほぼ一定の比率を維持しています。

【中項目3 計画的な投資と財源の確保】

高額な投資として、府中北市民病院の施設維持するため、屋上防水工事や空調設備工事を行いました。経営的に有利な財源を確保するため、過疎債を活用しました。

両病院とも医療機器の更新については、耐用年数と使用頻度を考慮し、計画的に行いました。主な更新機器については、以下のとおりです。

＜府中市民病院＞

令和2年度 自動遺伝子解析装置、多用途透析用監視装置、電動ベット 20台

令和3年度 マンモグラフィシステム、臨床化学自動分析装置、セントラルモニター式、超音波診断装置、上部消化管汎用ビデオスコープ

2台

令和4年度 多用途透析用監視装置、内視鏡用光源装置、超音波診断装置、薬局システム、電動ベッド、大腸ビデオスコープ

令和5年度予定 医事会計システム&健診システム、超音波画像診断装置、移動型X線装置

<府中北市民病院>

令和2年度 眼科医療機器一式、自動分析装置、多用途透析用監視装置

令和3年度 屋上防水工事、セントラルモニター式、内視鏡、外科用X線イメージ装置

令和4年度 上部消化管ビデオスコープ、内視鏡システム、電話交換機一式

令和5年度予定 医事会計システム、人工腎臓装置、荷物用（給食）エレベーター

【関連指標】

指標	実績 上段：府中市民病院 下段：府中北市民病院			
	令和2	令和3	令和4	令和5 (見込)
1 経営機能の強化による自立した病院運営				
※法人全体				
経常収支比率 (%)	96.9	102.6	99.8	96.1
医業収支比率 (%)	82.3	102.5	99.6	81.7
経常収益に対する市の繰入金比率 (%)	12.4	11.8	10.5	10.9
市の繰入金額 (千円)	473,129	467,325	409,432	406,900
指標	実績 上段：府中市民病院 下段：府中北市民病院			
	令和2	令和3	令和4	令和5 (見込)
2 収入の確保と支出の削減				
※各病院 ※市の繰入金を除く				
医業収益 (百万円)	2,523 985	2,645 1,007	2,590 982	2,590 832
入院収益 (百万円)	1,369 524	1,363 513	1,419 474	1,419 324
外来収益 (百万円)	759 332	820 339	826 346	826 346
経常収支比率 (%)	86.2 81.8	93.9 83.1	97.9 80.6	97.9 68.7
医業収支比率 (%)	82.4 81.9	86.9 82.5	88.2 79.3	88.2 66.9

給与費比率 (%)	79.7	77.8	76.0	76.0	
	77.7	76.2	80.3	95.6	
経費比率 (%)	20.4	19.3	20.1	20.1	
	19.1	19.9	20.7	24.7	
材料費比率 (%)	12.8	12.8	13.1	13.1	
	10.9	10.7	10.6	11.8	
委託料比率 (%)	9.8	9.7	9.8	10.6	
	8.8	8.8	8.9	8.9	
減価償却費比率 (%)	8.1	4.7	3.7	3.7	
	14.3	14.2	14.3	17.0	
指標					
		実績 上段：府中市民病院 下段：府中北市民病院			
		令和2	令和3	令和4	令和5 (見込)
3 計画的な投資と財源の確保					
計画額(千円)		535,000			
実績額(千円)		74,036	186,029	188,551	86,384
長期借入金年度末残高(百万円)		2,049	1,761	1,644	1,499
長期借入金年度末残高(百万円)(再掲：運営費貸付金)		350	350	350	350

大項目4「その他業務運営に関する重要事項」

中期計画に定める中項目

1 市の健康福祉関連施策への積極的協力

	毎年度の大項目評価				中期目標期間評価	
	令和2	令和3	令和4	令和5	見込まれる評価	期間実績評価
自己評価 ※自己評価は小項目ごとに実施			○		○	
市長評価	○	○	○		○	

(評価基準) ◎：年度計画を上回って実施 ○：年度計画を順調に実施
△：年度計画を十分に実施できていない ×：年度計画を大幅に下回っている

実績（取組、成果、課題等）及び評価の理由

【中項目1 市の健康福祉関連施策への積極的協力】

両病院とも、市の医療・健康・福祉関連施策に対して積極的に協力しました。

コロナ禍における感染対策についても、公的医療機関としての役割を果たしました。

＜府中市民病院＞

コロナ対策においては、いち早く発熱外来を開始、また県の要請に応じてコロナ病床を確保し、患者の受け入れを行いました。コロナワクチン接種についても、積極的に協力しました。また、乳幼児の集団健診が出来なくなったとき、病院での個別健診を実施しました。

今後の感染症拡大時に備え、市の補助を得て、病院敷地内にコンテナハウスを設置しました。

市の健診事業については、引き続き病院での個別健診を実施しています。

女性を対象とした保健事業では、病院内に「女性予防医学チーム」を立ち上げ、婦人科の常勤医師を中心に市の担当課と連携した啓発活動を行っています。

＜府中北市民病院＞

上下地域の公的医療機関として、病院でのコロナワクチン接種について、積極的に実施しました。

市の健診事業については、引き続き病院での個別健診を実施する体制を維持しています。

介護予防について、フレイル予防のための講演会などに、医師が積極的に参加しています。